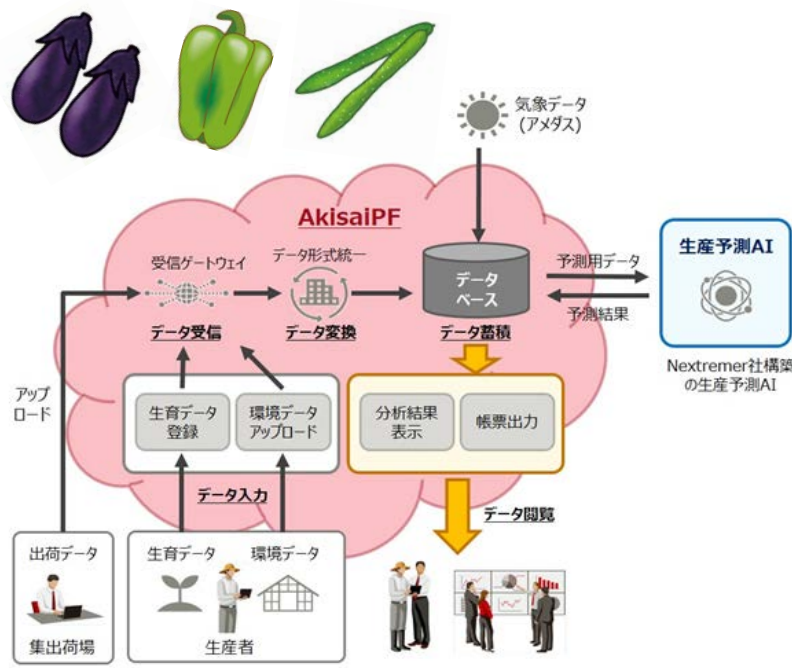
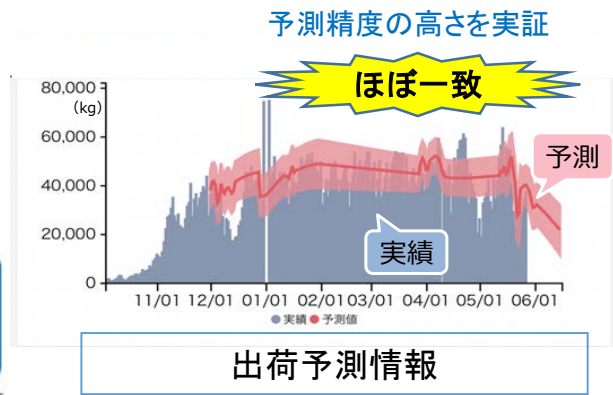


AIが3週間先までの果菜類の生産量を予測 —栽培改善と安定取引の強化で所得アップを支援—

- 高知県は富士通(株)、Nextremerと共同で、出荷情報などをクラウドに収集し、果菜類(ナス、ピーマン、キュウリ)の日々の出荷量や品質、部会内順位に加えて、今後の出荷予測などがスマホ等で閲覧共有できる「高知県園芸品生産予測システム」を開発。
- 過去の出荷量と気象データ(気温、降水量)との関係を学習させたAIが、3週間先までの日々の出荷量を予測。精度の高い出荷予測により、大口の商談を拡充することで販売力を強化。
- 生産者は部会全体の出荷情報を参考にしながら、栽培改善や収穫時期の調整などに活用。指導員は各生産者のデータに基づいた栽培指導が可能。



「高知県園芸品生産予測システム」の概要



出荷予測情報



本システムを活用した営農指導

導入により期待される効果

生産者のモチベーションの向上、気付きによる栽培改善、きめ細かい営農指導で生産性や品質の向上、廃棄ロス減少が可能。市場関係者には、3週間先の精度の高い出荷情報を提供でき、より大口の予約相対取引にも対応可能。